

## 4年

### くらしにせまろうクローバープロジェクト！



- 私は点字のグループで体験コーナーの係をしました。さいしょ作っている時は点字を読むだけだったけど少しずつ言葉を足したりクイズを入れたりしてどんどんパワーアップして、お客さんに楽しみながら点字を知ってもらえました。
- 僕は警察・消防グループでした。しょうかきの使い方を説明する時にかいせつ役の人のせりふに合わせた動きを考えました。台本を作る時できるだけ役をふやしたりクイズを工夫したりしてがんばりました。
- 僕はごみの達人グループでした。ごみの分別がむずかしいものの分け方を、分別体験で伝えるためにがんばりました。劇では、見ている人にとどくように大きな声ではっきりとすることができました。
- 劇や体験で、水の大切さとどのように水道水ができているかを伝えました。劇では、せりふに合った動きをみんなでアドバイスして練習することができました。見ている人に「楽しかった」「上手にできていたよ」と言ってもらえるように工夫を考えてがんばりました。

<保護者の方より>

- ☆水も大切な資源だということを実際の実験を行い身近に感じるすることができました。子どもでも簡単にわかるように工夫されていて家族みんなで楽しく勉強できました。
- ☆「点字を知ろう」の説明を聞いて、実際に点字体験をしてみました。身の回りにある点字が意外と多いと思いましたが、まだまだ足りていないことを知りました。家で飲み物を飲んでいる時に子どもが点字を読んでくれました。学校で学んだことが生活にいかされていてうれしく思います。

## 5年

### RUN FOR THE 愛川&お米作り



- 愛川ふれあいの村がどれだけ楽しいところなのかを知ってもらうために、実際に行った時の雰囲気表現することを意識しました。せりふも自分達で考えて、自然体で言えるように練習したり、伝わりやすいように工夫した小道具を準備したりしました。
- 「THE・藍染」の発表では、藍染めを作る手順や、染めた後空気に入れると藍色に変色することなど、藍染めの楽しさを分かりやすく伝えました。体験コーナーで、お客さんの誘導や染め方などの説明をみんなと協力して行い、成功させることができました。
- みんなで集めた150枚超えの米袋から分かったことや米の消費量低下の問題などを、お客さんに楽しんでもらえるように、米袋迷路、ランキング、グラフ、クイズなどの形にまとめて発表しました。たくさんのお客さんの前でしっかりと声を出すことができてよかったです。
- 「釜南米プロジェクト」の劇では、米作りで大切なこと、米作りでがんばってきたことなどを伝えるために、みんなで協力し、何度も台本を直しながら練習や準備をしました。クイズでは、お客さんが考える時間のための間も意識して発表することができました。

<保護者の方より>

- ☆米袋集めを生かして、米のことをよく調べていて勉強になりました。愛川の劇は、小道具作りも工夫されていて、愛川の楽しさがよく伝わってきました。
- ☆釜南米の劇では、役になりきり、アドリブも入れて笑いもあり、人前で物怖じせず発表している姿が頼もしかったです。
- ☆藍染めでは、分かりやすい説明と、体験するお客さんのことを考えた導線や案内の仕方がとてもよかったです。